

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	保育内容「人間関係」		教員氏名	吉田久仁子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-1 ②				
学年	1年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	26年
テーマ	子どもの総合的な発達と学びを支える人間関係を培うことの意味を考える				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	保育内容「人間関係」は、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容5領域の1つであり、総合的活動としての遊びを通じた幼児の育ちを支える根底的な領域であることを理解する。 幼稚園における生活全体を通じて展開されるものであることを踏まえる。幼児たちが人とかかわることを喜び、人を信頼し、様々な問題や葛藤を共に乗り越える経験を通じて、主体的で対話的な深い学びが実現できるような保育を具体的に構想し実践する方法を身に付ける。				
授業の 到達目標	(1)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を説明できる。				
	(2)幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けるための考え方を論じることができる。				
	(3)領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用できる。				
テキスト	浅見均編著 新版『実践から学ぶ 子どもと人間関係』 大学図書出版				
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領』 厚生労働省『保育所保育指針』内閣府『幼保連携型認定子ども園保育・教育要領』				
ポートフォリオ	生活習慣ワーク(2回)・新聞ワークシート(3回)・絵本【人間関係】ワークシート(10回)・遊び【人間関係】のワークシート(2枚)				
往還型授業 (双方向授業)	オンデマンド(googleclassroom)型で課題配信・提出、指導と評価				○
	オンデマンド(googleclassroom)型で保育実践VIDEO と課題配信・指導・評価				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	その他: 有事の場合オンライン授業【ハイブリッド型・自己学習型】で対面授業を行う。				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	100	課題の提示と提出確認・確認はGoogleClassroomにて、3回行う【レポート・ワーク(各20%):ディスカッションレポート】【グループ研究レポート40%】		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	幼稚園教育要領における領域「人間関係」とは何か、なぜ「人間関係」なのか。 幼稚園教育要領での保育内容の構成と領域「人間関係」について理解する(教科書第1章)	
	授業外学習	①自分の現在の人間関係を振り返る ②幼稚園教育要領・保育所保育指針での保育内容「人間関係」の相違点を明確にしておく	55分
第2回	テーマ 内容	幼児を取り巻く社会的背景と人間関係の育ち 5領域の中の「人間関係」と幼児を取り巻く社会との関係(教科書 第1章2)	
	授業外学習	基本的な生活習慣、生活リズム、情緒の安定、意欲 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第3回	テーマ 内容	家庭生活と幼児を考える。 心情・意欲・態度の根拠を支える生活習慣の育ちと家庭連絡・家庭連携の実践	
	授業外学習	①基本的信頼感、生きる力 これらのキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②自分の生育環境を振り返る	55分
第4回	テーマ 内容	幼児が安心感と充実感をもって過ごす援助の在り方(教科書 第2章3) 幼児の安心感・充実感を育む保育の実践(事例検証とディスカッション)	
	授業外学習	①安心感、自己充実、他者受容、上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②本授業のまとめ(授業内指示)	55分
第5回	テーマ 内容	保育の実践(1 幼児の仲間関係の葛藤と援助) —幼稚園における1学期の保育記録ビデオ観察と考察—	
	授業外学習	1～4回目までの授業内容を踏まえ、1学期の保育に置ける配慮の最重要事項について学び直ししておく	55分
第6回	テーマ 内容	保育者との信頼関係と幼児の自信—保育者の役割(教科書 第5.6章) 幼児の育ちと仲間関係の広がりにおける保育者の役割について考える。	
	授業外学習	信頼関係、自尊感情、マイナス感情、保育者の存在 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第7回	テーマ 内容	幼児の信頼関係と協同性—友だちへの意識(教科書 第5.6章) 幼児の自立心を育む幼児同士の信頼関係と協同的遊びについて考える。	
	授業外学習	①有能感、他者受容、自己調節、このキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②本授業での強調点子どもの「協同性」の大切さとそれを支える保育者の役割について自分の考えをまとめる。次の授業の準備(自分の幼少期を思い出し、仲間との葛藤体験と大人の存在について報告)	55分
第8回	テーマ 内容	幼児の遊び・子どもの遊びと仲間関係(教科書 第4章) (1) 遊びと発達の意味 (2) いざこざと仲間関係の育ち (3) 自分の体験を通じた葛藤体験の発達の意味をディスカッションし、考察する	
	授業外学習	いざこざ、葛藤の乗り越え、思いやり、ことばを超えた意図の共有 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第9回	テーマ 内容	遊びと発達の意味と協同的活動 二つの園の同じ遊びの比較検討(保育記録ビデオ観察)から幼児の人間関係の育ちと保育者の役割を学ぶ(情報機器の活用)	
	授業外学習	保育の実践と環境、ことば、子どもの遊び 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの人間関係の実際と保育者の役割(1.いざこざへの援助) 子どものいざこざ3事例をロールプレイし、ディスカッションを経て、次の日の指導案を立案する(情報機器の活用)	
	授業外学習	自分の幼少期のいざこざについて思い出せるものをピックアップしておく。	55分
第11回	テーマ 内容	子どもの人間関係の実際と保育者の役割(2.仲間関係と遊びの広がり) ルールのある遊び3事例をロールプレイし、協同的活動へつながる援助の在り方をディスカッションし、新たな指導案を立案する(情報機器の活用)	
	授業外学習	保育者の見守り、具体的援助 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。 また自分の幼少期に行ったルールのある遊びについて、想起した内容を記述しておく。	55分
第12回	テーマ 内容	気になる子どものいる保育と援助の在り方 気になる子どもをめぐって子どもの仲間関係を培う援助を考える(ロールプレイ・ディスカッション・新たな指導案の立案)	
	授業外学習	保育者の見守り、具体的援助 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第13回	テーマ 内容	小学校との交流・地域との交流を考える 相互主体的で互恵的な活動の工夫と展開 総括	
	授業外学習	保育と教育の繋がりの探求(滑らかな接続とは何にか)、 子どもの世界、子どもらの世界、生きる力、協同的活動 これらのキーワードを自分なりに調べ、整理しておく。	55分

課題に対するフィードバックの方法

対話的・往還的授業を目指す。意見や疑問、そして課題の取り組み内容に対して、受講者全員で共有できるように、可能な限り授業内でフィードバックする。またgoogleclassroomやZoomによるハイブリッド時にも往還的に対応する。

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	保育内容「人間関係」		教員氏名	須永真理	
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-1 ②				
学年	1年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	保育士	10年
テーマ	子どもの総合的な発達と学びを支える人間関係を培うことの意味を考える				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	保育内容「人間関係」は、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容5領域の1つであり、総合的活動としての遊びを通じた幼児の育ちを支える根底的な領域であることを理解する。 幼稚園における生活全体を通じて展開されるものであることを踏まえる。幼児たちが人とかかわることを喜び、人を信頼し、様々な問題や葛藤を共に乗り越える経験を通じて、主体的で対話的な深い学びが実現できるような保育を具体的に構想し実践する方法を身に付ける。				
授業の 到達目標	(1)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を説明できる。				
	(2)幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けるための考え方を論じることができる。				
	(3)領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用できる。				
テキスト	浅見均編著 新版『実践から学ぶ 子どもと人間関係』 大学図書出版				
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領』 厚生労働省『保育所保育指針』内閣府『幼保連携型認定子ども園保育・教育要領』				
ポートフォリオ	生活習慣ワーク(2回)・新聞ワークシート(3回)・絵本【人間関係】ワークシート(10回)・遊び【人間関係】のワークシート(2枚)				
往還型授業 (双方向授業)	オンデマンド(googleclassroom)型で課題配信・提出、指導と評価				○
	オンデマンド(googleclassroom)型で保育実践VIDEO と課題配信・指導・評価				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	その他: 有事の場合オンライン授業【ハイブリッド型・自己学習型】で対面授業を行う。				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	課題の提示と提出確認・確認はGoogleClassroomにて、3回行う【レポート・ワーク(各20%):ディスカッションレポート】【グループ研究レポート40%】		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	幼稚園教育要領における領域「人間関係」とは何か、なぜ「人間関係」なのか。 幼稚園教育要領での保育内容の構成と領域「人間関係」について理解する(教科書第1章)	
	授業外学習	①自分の現在の人間関係を振り返る ②幼稚園教育要領・保育所保育指針での保育内容「人間関係」の相違点を明確にしておく	55分
第2回	テーマ 内容	幼児を取り巻く社会的背景と人間関係の育ち 5領域の中の「人間関係」と幼児を取り巻く社会との関係(教科書 第1章2)	
	授業外学習	基本的な生活習慣、生活リズム、情緒の安定、意欲 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第3回	テーマ 内容	家庭生活と幼児を考える。 心情・意欲・態度の根拠を支える生活習慣の育ちと家庭連絡・家庭連携の実践	
	授業外学習	①基本的信頼感、生きる力 これらのキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②自分の生育環境を振り返る	55分
第4回	テーマ 内容	幼児が安心感と充実感をもって過ごす援助の在り方(教科書 第2章3) 幼児の安心感・充実感を育む保育の実践(事例検証とディスカッション)	
	授業外学習	①安心感、自己充実、他者受容、上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②本授業のまとめ(授業内指示)	55分
第5回	テーマ 内容	保育の実践(1 幼児の仲間関係の葛藤と援助) —幼稚園における1学期の保育記録ビデオ観察と考察—	
	授業外学習	1～4回目までの授業内容を踏まえ、1学期の保育に置ける配慮の最重要事項について学び直ししておく	55分
第6回	テーマ 内容	保育者との信頼関係と幼児の自信—保育者の役割(教科書 第5.6章) 幼児の育ちと仲間関係の広がりにおける保育者の役割について考える。	
	授業外学習	信頼関係、自尊感情、マイナス感情、保育者の存在 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第7回	テーマ 内容	幼児の信頼関係と協同性—友だちへの意識(教科書 第5.6章) 幼児の自立心を育む幼児同士の信頼関係と協同的遊びについて考える。	
	授業外学習	①有能感、他者受容、自己調節、このキーワードを自分なりに整理してまとめる。 ②本授業での強調点子どもの「協同性」の大切さとそれを支える保育者の役割について自分の考えをまとめる。次の授業の準備(自分の幼少期を思い出し、仲間との葛藤体験と大人の存在について報告)	55分
第8回	テーマ 内容	幼児の遊び・子どもの遊びと仲間関係(教科書 第4章) (1) 遊びと発達の意味 (2) いざこざと仲間関係の育ち (3) 自分の体験を通じた葛藤体験の発達の意味をディスカッションし、考察する	
	授業外学習	いざこざ、葛藤の乗り越え、思いやり、ことばを超えた意図の共有 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第9回	テーマ 内容	遊びと発達の意味と協同的活動 二つの園の同じ遊びの比較検討(保育記録ビデオ観察)から幼児の人間関係の育ちと保育者の役割を学ぶ(情報機器の活用)	
	授業外学習	保育の実践と環境、ことば、子どもの遊び 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの人間関係の実際と保育者の役割(1.いざこざへの援助) 子どものいざこざ3事例をロールプレイし、ディスカッションを経て、次の日の指導案を立案する(情報機器の活用)	
	授業外学習	自分の幼少期のいざこざについて思い出せるものをピックアップしておく。	55分
第11回	テーマ 内容	子どもの人間関係の実際と保育者の役割(2.仲間関係と遊びの広がり) ルールのある遊び3事例をロールプレイし、協同的活動へつながる援助の在り方をディスカッションし、新たな指導案を立案する(情報機器の活用)	
	授業外学習	保育者の見守り、具体的援助 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。 また自分の幼少期に行ったルールのある遊びについて、想起した内容を記述しておく。	55分
第12回	テーマ 内容	気になる子どものいる保育と援助の在り方 気になる子どもをめぐって子どもの仲間関係を培う援助を考える(ロールプレイ・ディスカッション・新たな指導案の立案)	
	授業外学習	保育者の見守り、具体的援助 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめる。	55分
第13回	テーマ 内容	小学校との交流・地域との交流を考える 相互主体的で互恵的な活動の工夫と展開 総括	
	授業外学習	保育と教育の繋がりの探求(滑らかな接続とは何にか)、 子どもの世界、子どもらの世界、生きる力、協同的活動 これらのキーワードを自分なりに調べ、整理しておく。	55分

課題に対するフィードバックの方法

対話的・往還的授業を目指す。意見や疑問、そして課題の取り組み内容に対して、受講者全員で共有できるように、可能な限り授業内でフィードバックする。またgoogleclassroomやZoomによるハイブリッド時にも往還的に対応する。